

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	急変患者におけるNational Early Warning Score を用いたカット値の調査
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 看護部 ハートセンター 北山 未央
研究期間	2016年8月1日～2022年12月31日
対象者	2010年1月1日～2017年12月31日にハートセンターに入室した18歳以上の成人患者さん
当該研究の意義・目的	院内急変患者を早期に発見し治療することは極めて重要であり、近年様々な手段が採用されています。その中でもNational Early Warning Score (NEWS)は急性期・慢性期を問わず使用が可能であり、重症患者を予測できるといわれています。呼吸回数、SpO ₂ 、酸素投与の有無、体温、収縮期血圧、脈拍、意識レベルの7つの観察項目に対して点数をつけて算出するため看護師も容易に評価することができますが、日本におけるNEWSの有用性は確立されていません。 そこで本研究では、当院の急変患者さんに対しNEWSの有用性を後方視的に検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。電子カルテから上記期間中に得られた情報を収集して点数化し、分析します。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 <調査項目> 急変時、急変1、3、5日前の呼吸回数、SpO ₂ 、酸素投与の有無、体温、収縮期血圧、脈拍、意識レベル、性別、年齢、疾患 等
外部への資料・情報の提供	外部への資料・情報提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 看護部 ハートセンター 北山 未央 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表) 076-286-3511 (内線4201)

作成日： 2019年1月22日